

学校法人庄内神社学園 庄内こどもの杜幼稚園  
平成29年度 自己評価シート

1. 本学園の保育目標

～われわれ学園職員一同は、次に掲げる子どもの姿を理想として、支援や環境設定をする～

- 神をうやまい、親や自分を取り囲むまわりの人々を大切に子ども
- 基本的生活習慣、態度を身につけた子ども
- 心身ともに健康的で、ねばりのある子ども
- きまりを守り、みんなと仲良くできる子ども
- よく考えて工夫し、自分から進んで行動できる子ども
- 情操豊かな心を持った子ども

2. 本年度、重点的に取り組む目標や計画

- ・平成30年の要領・指針等の改訂に向けての準備
- ・業務の生産性が高まる改善
- ・職員が主体的に運営に携わる施策検討・実施
- ・保育の質向上の取り組みを検討

3. 評価項目

評価項目	結 果
<b>○組織運営等</b> <b>【職員が主体的に運営に携わる施策検討・実施】</b> 園の状況を踏まえ、自分たちで課題を見出し、改善案を出しながら進められるような方法を検討し、実施する。	・今までの既存の行事担当グループは、全体で協力できるような体制が作れた。園庭プロジェクトなど、一定の道筋ができた。 今後は、このような主体的に運営に携わることを、キャリアパス等と連動しながら進める。
<b>【業務の生産性が高まる改善】</b> ICT化や指導計画やマニュアルの見直しをすることで、情報共有し、業務の効率化と質向上を図る。	・少しずつデータ管理を進め、今まで手書きで処理していたものも、パソコンでこなし、数点の記録書類を整理することで、業務の効率化を図れた。併せて園内のネット環境整備も行った。今後も業務の効率化と質向上を図る。
<b>【保育の質向上の取り組みを検討】</b> 年長者世代の職員を中心に、全園的に保育向上に寄与できるような施策検討	・現在実行している事業を検討する中で、事務の効率化や、新たな事業（ポートフォリオ等）のプロジェクトについて、実行段階まで実現出来た。 また、諸行事のマニュアル整備等を実施できた。
<b>○教育環境整備</b> <b>【園庭の保育環境改善案を計画、立案】</b> 園庭の保育環境を改善するため、担当に分け計画立案し、実践する。	・園庭プロジェクトを実施することで、例年に比べてアトリエの充実や、遊具の整備を行うことができた。学会や研究会等で発表する機会も得て、内容の理論付けもできた。
<b>○研修(資質向上の取組)</b> <b>【平成30年の要領・指針等の改訂に向けての準備】</b> 平成30年度、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領の改訂に向けての研修と、保育の再検討	・次年度施行される幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領に関する研修を実施した。 また諸会議でも、10の姿を意識するような内容を行った。

4. 財務の状況

現在のところは、公認会計士より、適正と認められている。

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
おおむね良好であった	・昨年度の振り返りをもとに今年度計画した事は、おおむね良好に実施できた。 ・保護者アンケートでも、おおむね良好な評価を得ることが出来た。

6. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
杜の子のあゆみ（ポートフォリオ）の定着化 質向上と連動した業務効率化の促進 園庭プロジェクトの発展的継続	新たに取り入れる杜の子のあゆみに対する研修 保育の質向上できるOJT促進のための教職員体制整備、質向上と連動した書類等の見直し 園庭プロジェクトを発展的に継続する方法の検討と実施

7. 学校関係者の評価

子どもたちが生き生きと、しっかりと保育されているので、安心している。今回見たのが初めてだが、ここまでの保育を、先生が理解してやっていることがよい。この幼稚園の園児はみんな楽しそうにやっている。小学校でも保護者と施設側のかかわりにかんする評価は同じ傾向を見せている。中学生と園児の交流はよかったし、とても大切に思う。主体的・対話的で深い学びと言われているが、園の保育園は次期の指導要領の改訂にもつながっていることをしている。自然に対する環境設定になっている。地域密着型の幼稚園なので子ども達も喜んでる。